

(様式3)【見能林小学校 実施報告書①】

拠点校として取り組んだ実践研究テーマ

児童の主体的な学びを展開させるため、ICTを効果的に活用した学習指導の工夫

実践研究の内容等

月	内容等
5	【拠点校事業①】 学力向上実行プラン作成検討会 ・拠点校と協力校との課題を共有し、小中連携における共通の取組についての検討
6	【拠点校事業②】 ICT研修
7	【拠点校事業③】研究授業3年 ・国語科における効果的なICT活用の仕方について研究会
8	【拠点校事業④】学力調査・ステップアップ結果分析
9	【拠点校事業⑤】研究授業5年指導案検討会 協力校交流会 ・算数科におけるICTの効果的な活用について研究会、研修会
10	【拠点校事業⑥】研究授業1年 ・低学年における効果的なICT活用の仕方について研究会
11	【拠点校事業⑦】研究授業5年 授業研究会 協力校交流会 ・学力向上実行プラン等をもとにした研究会、研修会
	【拠点校事業⑧】これまでの学力向上実行プランの取組の成果と課題の共有及び情報交換
	【拠点校事業⑨】学力向上実行プラン中間見直し及び情報交換 協力校交流会
2	【拠点校事業⑩】拠点校及び協力校における研究の考察と課題の共有

(様式3)【見能林小学校 実施報告書②】

取組の流れ

学力向上実行プラン
作成検討会 (抛・協)

研究授業①

ICT活用校内研修

研究授業①授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会 (抛・協)

研究授業②授業研究会

研究授業③授業研究会
(抛・協)

実行プランの成果と課題
の共有・情報交換

中間見直し及び情報交換
(抛・協)

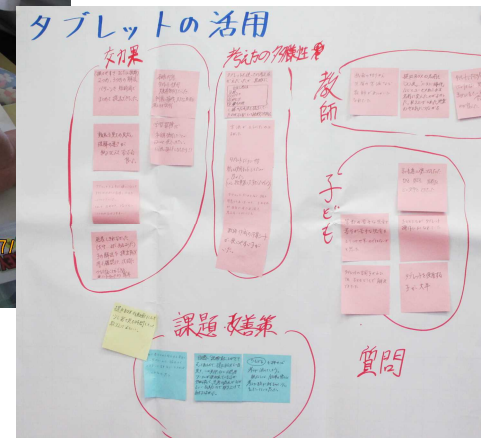
研究の考察と課題の共有
(抛・協)

特徴ある取組について

授業研究会のもちかた

- ・あらかじめ参加教員を4グループに分け、それぞれの授業を見る視点を知らせておく。
- ・授業を参観するとき、自分のグループの視点で参観する。
- ・授業研究会で、それぞれのグループで話し合ったことを発表し共有する。

視点の例 ・児童の姿 ・教師の支援 ・授業の流れ
・タブレットの活用の仕方 ・実行プランとの関連など



(様式3)【見能林小学校 実施報告書③】

取組の成果

- ・授業におけるICTの活用については、タブレットばかりに頼ることなく体験や活動、実物や図書との併用の大切さがわかり、児童の実態や学習内容に合わせて効果的な活用ができるようになってきた。
- ・ICTを活用することによって、児童の主体的な学びが行われるようになってきている。
- ・ICTの活用については、校内研修だけでなく普段からの情報交換や放課後を活用してのミニ研修などにより、教職員の技能や意欲の向上が図れ、授業だけでなく研修や事務等にも有効に活用できるようになってきた。

本校の学校力について

学校力とは、児童を成長させるための高い教育技術（授業力）を会得している教員と、全教職員が一丸となって教育課題に取り組む組織体として機能する働きであると考えます。

学校力を向上させるためには、教職員の主体的な取組と協働が重要である。そこで本校は、①教師の授業力を高めること、②優れた教育計画（教育課程）を用意すること、③効率的な学校運営を展開することを念頭に取り組んできた。

管理職のマネジメントについて

校内人事において、タブレットを活用した授業力を向上させるために、情報担当を低・中・高学年から一人ずつ担当に配置し、ICT活用推進チームとして機能するようにした。また、活用上の疑問や効果的な活用方法についての情報交換を校内研修の枠だけにとどまることがないようにした。具体的には、毎回の校内研修の余った時間枠や終礼の折に、教員だれもが情報発信をするよう促し、小刻みなタイミングで情報共有することで、新教育観達成への意識が途切れないようにした。そして、全教職員が当事者意識をもって技術向上に意欲がもてるよう配慮した。さらに、徳島型メンター制度の取り組みの内容にICTに関する内容を積極的に盛り込むよう助言した。